

江戸川区消防団運営員会議事録 要約

開催日時	令和5年3月20日（月） 10時00分～10時30分
開催場所	江戸川区役所5階災害対策本部室
諮問事項	「大規模地震発生時における特別区消防団の消火活動能力を向上させる方策はいかにあるべきか」
出席者 (19名)	<p>委員長 齊藤 猛</p> <p>委員 宇田川聡史（都議会議員）</p> <p>田の上いくこ（都議会議員）</p> <p>上田令子（都議会議員）</p> <p>小野瀬二郎（江戸川防火防災協会会長）</p> <p>宇田川清（葛西防火防災協会会長）</p> <p>松下幸博（小岩防火防災協会会長）</p> <p>田島寛之（区議会議員）</p> <p>岩田将和（区議会議員）</p> <p>所隆宏（区議会議員）</p> <p>太田公弘（区議会議員）</p> <p>中山隆仁（区議会議員）</p> <p>大橋美枝子（区議会議員）</p> <p>野呂瀬亮一（江戸川消防署長）</p> <p>黒崎清貴（葛西消防署長）</p> <p>石澤幸洋（小岩消防署長）</p> <p>渡邊辰雄（江戸川消防団長）</p> <p>関口政男（葛西消防団長）</p> <p>村瀬光一（小岩消防団長）</p>
欠席者	なし
傍聴者数	1人
配布資料	審議資料（別紙のとおり）
次第	<p>1 開会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>答申案の検討・承認（答申決定）</p> <p>「大規模地震発生時における特別区消防団の消火活動能力を向上させる方策はいかにあるべきか」</p>

	<p>4 その他</p> <p>(1) 江戸川区内消防団の現況</p> <p>(2) 江戸川区内災害の状況（速報値）</p> <p>5 閉会</p>
審議内容	<p>3 議事</p> <p>諮問について</p> <p>「大規模地震発生時における特別区消防団の消火活動能力を向上させる方策はいかにあるべきか」</p> <p>事務局</p> <p>審議資料の説明</p> <p>委員</p> <p>震災に特化した実践的な訓練について、閉校になった学校等で解体前に訓練ができるようにすることも大切である。</p> <p>委員</p> <p>首都直下地震の被害想定が見直され、江戸川区の出火件数がワースト1になっている中で、特に火が出やすいところがある。街の中でどういう場所でのような消火訓練が出来るかという視点で進めていく必要があると思う。答申案の中に「実践的な活動訓練の実施」について記載されていることは大変に重要である。</p> <p>委員</p> <p>この答申案は良くまとまっていると思う。各分団に蓄電池のような装備はあるのか。また、感震ブレーカーはあるのか。無ければつけた方がいいと思うがいかがか。</p> <p>事務局</p> <p>ポータブル電源装置については、市販の防災用品がある。必要に応じて購入し配備していくことがいいと考える。ソーラーパネルも携帯式のパネルがあるので、そういったもので充電をしていくということを考えている。感震ブレーカーについては、まだ分団施設には設置されていない。今後は必要だと考える。</p> <p>委員長</p>

以上をもって、都知事に対し答申したいと考える。

委員全員

意義なし

4 その他

江戸川区内消防団の現況・江戸川区内災害の状況の説明

委員

令和4年7月1日に頂いた資料と比べて女性の団員さんが増えていると認識した。良かったと思う。どのような努力をされたのか。

事務局

女性団員について葛西消防団でプラス7名、小岩消防団がプラス4名となった。団員の友人が入ってくれている。SNSを活用した女性に対する団員募集の広報も行っている。駅でのポスターや都バスの中でのアナウンス広報など地道な努力が効果を上げていると思われる。

5 閉会